

平成24年度 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

実績報告会資料

亀岡市 生涯学習部 市民協働課

平成24年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金実績報告会

- P 1 ~ 2 実績報告一覧(市民活動スタート事業・市民活動ステップアップ事業)
- P 3 ~ 4 収支決算一覧(市民活動スタート事業・市民活動ステップアップ事業)
- P 5 実績報告一覧(企画提案型協働事業)
- P 6 収支決算一覧(企画提案型協働事業)
- P 7 ~ 8 アメリカの姉妹都市Stillwater市との交流を中心とする異文化交流
Office Com Junto(オフィス・コン・ジュント)
- P 9 ほっこりサロンつつじヶ丘
ほっこりサロンつつじヶ丘
- P 10 ~ 13 介護に関する相談活動のための冊子の制作配布事業
介護相談 リンクす
- P 14 ~ 17 くろかる多文化共生プロジェクト
亀岡クロスカルチャー協議会 京・くろかる隊
- P 18 ~ 20 世界の人に教えたい日本料理
ゲストハウス 藤原邸
- P 21 ~ 23 共生のまちづくり事業
かめおか遊友ネットワーク
- P 24 ~ 27 「ほづがわファンラン」の開催
特定非営利活動法人 プロジェクト保津川

§ 平成24年度支えあいまちづくり協働支援金採択団体 事業実績報告一覧

NO	申請団体名等	決算額 (円)	交付決定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (効果と成果)	事業期間	実施場所	参加 人数	今後の予定 と展望
1	Office Com Junto(オフィ ス・コン・ジュ ント)	102,350	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	アメリカの姉 妹都市 Stillwater市と の交流を中心 とする異文化 交流	ステイルウォータースターのこれまでの実績も踏まえ、子どもたちを含む市民交流を継続させるため、アート作品やポストカード交換による交流、ステイルウォータースター出身ミュージシャンによるコンサート等のプログラムを行う。	「旅するドラゴンプロジェクト」と題し、龍をモチーフとしたアート作品製作を70名の参加者を得て実施し、ステイルウォータースター市へ送り、アートセンターで展示。先方のアート作品を市役所ロビー、ガレリアかめおか等で展示。 南つつじヶ丘小及びあゆみ保育園においてポストカードを使った交流事業を実施した。	決定後～ 平成25年 2月28日 (木)	亀岡市内	アート 作品交 流 70 人 ポスト カード 交流南 つつ じヶ丘 小児 童、あ ゆみ保 育園	ステイルウォータースターのアートセンター等及び南つつじヶ丘小、あゆみ保育園双方が次年度以降の交流継続を望んでいることから、継続実施予定である。
2	ほっこりサロ ンつつじヶ丘	231,400	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	ほっこりサロ ンつつじヶ丘	介護予防や地域高齢者の見守りなどを目的として、地域に住む高齢者を対象とした昼食サービスやレクリエーションの提供、家庭訪問、一人暮らしの男性の料理教室等を実施する。また、未就学の子どもとその親と高齢者とのふれあいの場づくりを新規に実施する。	6月～2月にかけて、12回の食事会や料理教室の開催を9回など、定期的な実施を行うことができた。ひきこもりや閉じこもりを防止、地域へ出るきっかけづくりを行うこと、高齢者同士の情報交換の場づくりを行うことができた。また、未就児と高齢者のふれあいの場としてレクレーションを実施できた。	決定後～ 平成25年 2月28日 (木)	東つつじヶ丘 ふれあいセ ンター	食事会 12回76 人 男の料 理教室 9回54 人 レク レー ション9 回22人	本事業の利用者のみならず関わるスタッフやボランティアの生きがいにつながり、スタッフ自身の介護予防にもつながっている。次年度以降も継続をしていきたい。
3	介護相談 センター	236,669	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	介護に関する 相談活動のた めの冊子の 制作配布事 業	昨年度に支援金を受け、実施した相談会などを通じて、介護サービスの具体的な活用方法が分からない方が多いことや案内が不十分なことなどが判明した。事業者などの協力も得ながら、具体的な事例を冊子にまとめる。また、冊子を使った相談事業の展開により、介護保険制度の理解、サービスの紹介などに活用できたほか、他市の冊子製作の資料として活用されるなどの反響があった。	事業者の協力も得ながら冊子の制作を行うことができた。また、冊子を使った相談事業の展開により、介護保険制度の理解、サービスの紹介などに活用できたほか、他市の冊子製作の資料として活用されるなどの反響があった。	決定後～ 平成25年 2月28日 (木)	市内各地域 の集会所な ど	冊子作 成350 部 相談事 業8回 195名	作成した冊子の内容更新を行いながら、配布と相談事業を組み合わせた事業を展開していきたい。

平成24年度支えあいまじり協働支援金採択団体 事業実績報告一覧

NO	申請団体名等	決算額 (円)	交付確定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (効果と成果)	事業期間	実施場所	参加 人数	今後の予定 と展望
4	亀岡クロスカルチャール協会・くろか隊	103,006	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	くろかる多文 化共生プロ ジェクト	亀岡の在住外国人が、ま 日本人と同じようにやす ちづくりに参加しやす いように、多文化共生 の意識向上を図るワー クショップ等を行うと ともに、やさしい日本 語による亀岡市ホーム ページ作成を行う。	在住外国人との多文化コ ミュニケーションを進めた め、亀岡大隅り大会への参 加やスポーツ大会を実施 するほか、亀岡市ホーム ページへのやさしい日本 語ページ作成を行った。	決定後～ 平成25年 2月28日 (木)	ガレリアかめ おかほか	160人	在住外国人が支 援をされる側で はなく、地域社 会を支える一人 として認識される よう防災訓練や 多文化サロンを 実施していきたい。
5	ゲストハウス 藤原邸	163,000	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	世界の人に教 えたい日本料 理	来日外国人及び在住日外 国人を対象に、古民家 の台所で季節に合った 日本料理づくりを体験 する機会を設け、体験 の過程で生まれるコ ミュニケーションを通 じた日本理解につな がると、地域の活性化を図 る。	目標数を上回る参加者数 があり、また数か国から参 加者があったことで、幅広 い国際交流を図ることがで きた。また、農村集落に外 国人だけでなく他地域の活 が訪れることで、地域の活 性化につながった。	決定後～ 平成25年 2月28日 (木)	ゲストハウス 藤原邸	108人 (うち外 国人24 人9人)	食を通じた市民 レベルの交流 を、一過性にな らないように継続 して実施したい。
6	かめおか遊友 ネットワーク	263,000	100,000	市民活動ス テップアッ プ事業(さら に充実サ ポート事 業)	共生のまちづ くり事業	子どもや障がい者、高 齢者などの弱者への理 解と支援体制を構築 し、絆づくりをおこな うための学びの場を創 出する。昨年度からの 継続事業に加え、青少 年の勉強会を開催す る。	支援金対象外の事業と連 携しながら幅広い字びの場 づくを行うことができた。 また、青少年を対象とした 勉強会を実施することがで き、内容も昨年度よりレベ ルアップしたものをを行うこと ができた。	決定後～ 平成25年 2月16日 (土)	京都学園大 学ほか	各種事 業参加 者412 人独自 Webサ イトの 立ち上 げ	NPO法人格取得 を目指すほか、 団体設立10周年 でもあるので、さ らに外部団体と の協力関係を 作っていきたい。

平成24年度 亀岡市まちづくり協働支援金採択団体の収支決算書 単位(円)

	団体名 項 目	Office Com Junto(オフィ ス・コン・ジュント)		ほっこりサロンつつじヶ丘		介護相談 リンクス	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	自己資金	0	2,350			21,000	55,469
	参加者負担	136,000	0	163,800	131,400		
	収益					0	81,200
	寄付金						
	合 計	236,000	102,350	263,800	231,400	121,000	236,669
支 出	報償費	5,000	30,000	76,500	71,000	5,000	0
	旅費						
	消耗品費	30,000	47,375			5,000	3,159
	印刷製本費	10,000	0	6,400	1,520	90,000	171,210
	通信運搬費	50,000	9,960				
	保険料	5,000	0				
	使用料及び賃借料	5,000	15,015	43,200	32,400	1,000	2,500
	飲食費						
	手数料	1,000	0				
	広告宣伝費					6,000	0
	計	106,000	102,350	126,100	104,920	107,000	176,869
支 出 (対象外)	飲食費	30,000	0	126,000	81,200		5,600
	交通費等	100,000	0			5,000	18,000
	予備費			11,700	45,280		
	消耗品費					1,600	0
	会議費					5,000	6,500
	負担金					2,400	2,400
	使用料						
	報償費						
	印刷製本費						
	保険料						
	広告宣伝費					0	27,300
	通信運搬費						
	計	130,000	0	137,700	126,480	14,000	59,800
合 計		236,000	102,350	263,800	231,400	121,000	236,669

	団体名 項 目	電岡クロスカルチャー協議 会 京・くろかる隊		ゲストハウス 藤原邸		かめおか遊友ネットワーク	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	自己資金		3,006		7,236	84,055	76,000
	参加者負担			63,000	23,100	135,000	87,000
	収益						
	寄付金						
	合 計	100,000	103,006	163,000	130,336	319,055	263,000
支 出	報償費	50,000	53,000	60,000	45,000	55,000	52,000
	旅費	10,000				5,000	10,000
	消耗品費	5,000	36,697	50,000	60,856	40,000	21,928
	印刷製本費	10,000	5,670	10,000	10,980	0	16,090
	通信運搬費	5,000		1,000		5,000	0
	保険料	5,000		30,000	1,500		
	使用料及び賃借料	15,000	4,280			6,300	0
	飲食費					5,000	0
	手数料		3,359				
	広告宣伝費					10,000	0
	計	100,000	103,006	151,000	118,336	126,300	100,018
支 出 (対 象 外)	飲食費						
	交通費等					36,500	32,750
	予備費					10,000	11,825
	消耗品費					13,700	9,681
	会議費					1,255	10,777
	負担金					25,000	22,400
	使用料			12,000	12,000	6,300	3,689
	報償費					25,000	19,000
	印刷製本費					55,000	36,090
	保険料					20,000	8,710
	広告宣伝費						
	通信運搬費					0	8,060
	計	0	0	12,000	12,000	192,755	162,982
合 計		100,000	103,006	163,000	130,336	319,055	263,000

成24年度支えあいまちづくり協働支援金(企画提案型協働事業)採択団体事業実績報告

NO	申請団体名等	決算額 (円)	交付確定額 (円)	対象事業	事業名	事業内容	事業効果 (効果と成果)	事業期間	実施場所	参加 人数	今後の予定 と展望
1	特定非営利活動法人 プロジェクト保津川	2,167,301	1,000,000	企画提案型協働事業(市民提案型事業)	「ほづがわファンラン」の開催	都市部を中心に近年人気の高まっているランニングイベントを保津川河川敷で開催することを通じ、新たな亀岡の魅力の情報発信を図るとともに、その収益金を利用した保津川の環境保全を広く支援する。	参加者数、寄付金額ともに目標を上回る成果があった。また、愛知や富山など遠方からの参加者もあつた。ボランティアについても目標を上回る参加があり、参加者のスタッフに対する満足度も高かった。	平成24年 10月1日 ～平成25 年3月31 日	保津川右岸 河川敷	参加者 319人、ボ ランティ アスタッ プ58 人、寄 付金 304,56 5円	今年度の経験を踏まえて、さらに事業を発展させ、市民や地域の活動資金を自立的に獲得するロールモデルを目指したい。

平成24年度 亀岡市まちづくり協働支援金(企画提案型協働事業)採択団体の収支決算書

単位(円)

団体名	項目	NPO法人 プロジェクト保津川					
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
収 入	協働支援金	1,000,000	1,000,000				
	自己資金	788,000	361,201				
	参加者負担	535,000	730,100				
	寄付金		76,000				
	合 計	2,323,000	2,167,301	0	0	0	0
支 出	報償費	110,000	91,000				
	賃金	240,000	150,000				
	消耗品費	950,000	554,738				
	原材料費	30,000	0				
	通信運搬費	30,000	30,989				
	保険料	60,000	20,080				
	委託料	400,000	447,102				
	賃借料	103,000	104,418				
	備品購入費	220,000	233,705				
	印刷製本費	0	9,764				
	間接経費	100,000	191,150				
	計	2,243,000	1,832,946	0	0	0	0
支 出 (対 象 外)	スタッフ昼食費	80,000	20,000				
	寄付金	0	304,565				
	支払手数料	0	2,190				
	参加料返金分	0	7,600				
	計	80,000	334,355	0	0	0	0
合 計		2,323,000	2,167,301	0	0	0	0

亀岡

子の絵画で 国際交流

米の姉妹都市に展示

亀岡市余部町のガレリアかめおかで31日、有志ら7人が現地を訪れたのがきっかけ。子どもが今年の干支「たつ」を墨で描くイベントがあった。作品は姉妹都市の米国オークランド市で8月に展示され、子どもの芸術活動を通して国際理解や文化交流を深める。今年3月、亀岡市民



竜をテーマに墨絵を描く子どもたち。作品は米国スティルウォーター市で展示される(亀岡市余部町・ガレリアかめおか)

での約30人が、「たつ」にちなんで「竜」の墨絵に挑戦。講師を務めた地元の美術作家ベリマキコさんの手ほどきを受け、思い思いに筆を走らせた。イベントは1日も行なわれ、南つつじヶ丘小、あゆみ保育園の子ども作品と合わせて8月末、スティルウォーター市内のアート施設2カ所で展示。一方、米国の子どもが描いた作品は、亀岡市役所などで紹介する予定。(堀内陽平)

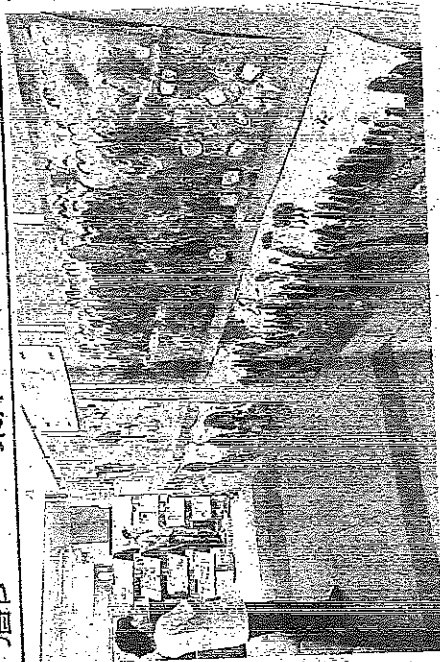
亀岡で姉妹都市作品展

米の子とも 描いた大自然

亀岡市の姉妹都市・米国オクラホマ州スタイルウオーター市の子もたちが描いた絵画が、亀岡市役所エントランスホールで展示されている。両市の子どもの絵を交換して互いに紹介する試み。ゾウやクマなどの大型動物が広い草原を歩く様子を描いた米国の作品に、来庁者が見入っている。

初の交換事業

両市は1985年に姉妹都市になった。今年3月、この提携を契機、絵の交換事業プロジェクトが始動した。以来、両市の壁がなくなってきた。



米国スタイルウオーター市の子もたちが描いた草原や動物の絵(亀岡市役所)

亀岡では今夏、たつ年にちなんで子どもたちが「竜」にまつわる風景を描いた。スタイルウオーター市でもアートキャンプが4回にわたって開催され、子どもたちが大型作品を仕上げたという。

市役所ホールには、幅約2メートル、高さ約2メートルの大作が1枚並ぶ。キャンパスに緑の草原や木々、青い空、たくさんの動物が絵の真ん中で生き生きと描かれている。展示は3日まで。亀岡の子もたちの作品は今後、現地のアートセンターで展示されるという。(小池直弘)

新時代

2012年11月8日 12:00～
霞ヶ丘のたけなわホール



セナー
推進委員会委員と佐賀市職員のみなさん



まがはたのたけなわホール



片山先生が撮った写真

- 11月8日 ●
- 本日の献立 ●
- 栗入り藤粥飯
- さんまの塩焼き 味噌湯
大根おろし ずきん漬
- 具だくさん味噌汁
- 酢の物 (香梅・きゅうり・わかめ
カニカマ)
- デザート…バブアノヨーグルト フルーツ
デザート
- さつき芋いしが栗風

介護が必要かな？と思った時に読む本

平成24(2012)年版・亀岡市民用

現・元 亀岡市介護相談員グループ

介護相談 リンクす

地域包括支援センター

地域包括支援センターには、保健師さん、社会福祉士さん、主任ケアマネジャーさんが揃っており、介護ばかりでなく高齢期のいろいろな問題を相談できます。高齢者本人だけでなく、家族や近所の人でも相談する事ができます。介護サービスが必要だと思われるときは、介護認定を受けなければなりません。地域包括支援センターでは介護認定の申請手続きも行ってもらえます。現在、亀岡市の地域包括支援センターは5ブロックに分かれていますので、自分の担当地域の地域包括支援センターを確認し、相談してみましょう。

地域包括支援センター あゆみ ☎ 25-3841 (篠町篠下中筋45-3)

担当地域 曾我部町・東別院町・西別院町・篠町・東つつじヶ丘

地域包括支援センター かめおか ☎ 29-5155 (新町15)

担当地域 亀岡地区

地域包括支援センター 亀岡園 ☎ 25-0863 (河原林町河原尻上砂股100)

担当地域 旭町・千歳町・保津町・河原林町・馬路町

地域包括支援センター シミズ ☎ 22-9336 (篠町広田2-9-13)

担当地域 大井町・吉川町・蔦田野町・千代川町・西つつじヶ丘・南つつじヶ丘

地域包括支援センター 友愛園 ☎ 26-0056 (本梅町平松ナベ倉12)

担当地域 東本梅町・宮前町・本梅町・畑野町

介護が必要と認められたら利用できるサービス

住宅改修

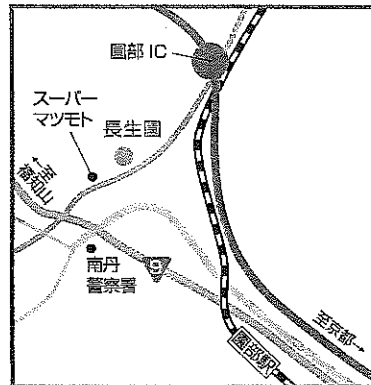
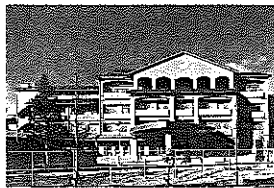
要支援1以上の判定であれば、小規模の住宅改修の費用が20万円まで支給されます。利用に際しては注意が必要で、適用される住宅改修は、段差の解消、和式から洋式への便器の取替え、手すりの取り付けなど、ちょっとした工事のみということです。給付を受けるには申請が必要となるので、工事を始める前に必ずケアマネジャーさんに相談しましょう。

※利用は原則1回のみ。自己負担1割があるので、給付される金額は最高18万円までとなります。

介護が必要と認められたら利用できるサービス

長生園

昭和31年に船井郡6町・6町社協・仏教会の支援を受けて設立された法人が運営しています。240床あり100名を超える介護スタッフが利用者の心身の安定と自立を目指して支援します。法話会や子ども将棋など各種の催しが盛んです。1階ロビーで毎月2回行われる「喫茶ひまわり」には、100名もの方が参加してコーヒーやケーキを楽しみます。敷地内に診療所もあるので、常勤医師や看護師、協力病院との連携で安心して暮らせませす。



南丹市園部町上木崎町坪ノ内19 (園部ICより車で約2分)

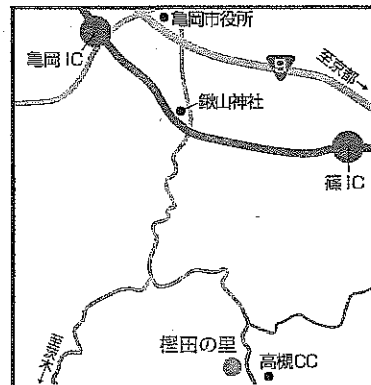
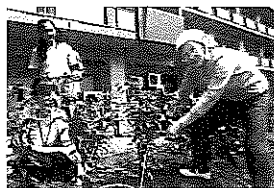
☎ 0771-62-0223

<http://www.choseien.com>

■ その他のサービス デイサービス、ショートステイ、ケアハウス、グループホーム、ホームヘルプサービス 他

檜田の里

大阪府高槻市の檜田地区に位置し、とんがり帽子の赤い屋根が特徴的で、街中では味わうことのできない豊かな自然に恵まれています。ユニット型全室個室のゆとりある空間と入居者一人ひとりの生活を大切にするケアで「癒し・安心」をお届けします。地域との繋がりを大切にしており、近隣の小学校との交流や、地域の方へ施設の開放を行っています。理学療法士や歯科衛生士による専門的なリハビリや口腔ケアで自立支援を行っています。



高槻市田能畑子谷15-1 (鍛山神社より高槻街道を車で約10分)

☎ 072-680-0001

<http://www.kensyokai.or.jp/kashida.html>

■ その他のサービス デイサービス、ショートステイ

介護が必要かな？と思った時に読む本

この冊子は、「平成24年度亀岡市支え合いまちづくり協働支援金」の助成を受けて制作しました。冊子の制作にあたり、亀岡市および近隣の介護サービス事業所、亀岡市の市民協働課、高齢福祉課の皆様にご協力いただきました事を感謝いたします。

平成24年11月 第1版第1刷発行

平成25年1月 第2刷発行

発行：介護相談 リンクス

編集：戸田百合恵・蔭山彰子・大倉康子・八木愛子・堀川道代・吉川好美・渡邊明子・仲奈々子

〒621-0805 亀岡市安町釜ヶ前23-9-603 ☎ 090-8234-6944 info@kaigo-soudan.net

Copyright © 2012 Kaigosoudan-Links All rights reserved. ※本紙の無断転載・複写はご遠慮ください

波 丹

介護の80事業者を紹介

亀岡のグループ 冊子でサービス一目

亀岡市介護相談員らでつくるグループ「介護相談リンクス」が市内の介護サービスを紹介した冊子を作製し、介護事業者と行政、利用者の間で活用している。約80の事業者やサービス内容を、市民目線で紹介している。同グループは介護保険事業者と行政、利用者の間で活用している。

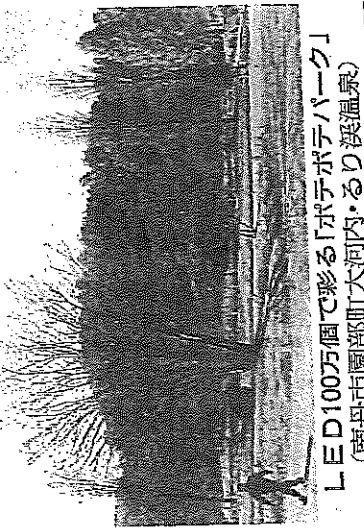


亀岡市内すべての介護事業者と提携サービスを紹介する冊子を手にする介護相談リンクスのメンバー(亀岡市役所)

100万の灯 星空と競演

8日から るり溪温泉で初めて

冬の星空と競演する河内のるり溪温泉で初のイルミネーション「京都・奈良・大阪」が12月8日から来年2月17日まで南丹市園部町大



LED100万個で彩る「ボテボテパーク」(南丹市園部町大町内・るり溪温泉)

温泉は標高500以上の高原地帯にあり、夜は真っ暗闇になるが、星の観望スポットとして知られる。京阪神から年間24万人が訪れる集客力を生かし、丹波の新たな観光資源として、地域振興に結びつきたいという。

会場は温泉内の「ボテボテパーク」で約1万平方メートル。宇宙がテーマで、自然の景観を生かした光のショーを演出する。期間中は5万人の来場を見込む。点灯時間は午後

タイトルは「介護が必要なものと思った時に読む」。8人のメンバーが6月から各施設を取材。京都府西京区や大阪府高槻市などの施設も含めた。冊子は訪問介護や特別養老ホームなどを紹介。制度や用語の解説も盛り込んだ。B5判、14冊。200部作成。相談会などで配布する。

編集担当の仲宗根さん(40)は「各施設の特長が出るように書いた。今後は配食や買い物といった日常生活の支援も紹介する内容に改定していきたい」と話す。冊子の問い合わせは同グループの戸田昌恵さん(0771-22)1343。(久保田昌洋)

時午後5時
料は大人1000円
以上500円
(二)

除雪計画の
る丹波市
関係者(南丹)

冬冬番
除雪会
南丹

降雪

府南丹
は府園部
丹市園部
園を閉
1市の除
40人同
雪計画を
計画で
号や府直
40・4
で、緊急

大野タム建設を目的とした地に地元の子どもたちの思いを記録しようと編まれた文集「タムの手紙」。刊行後、10年を経た1970年には「大野の手」と題した新たな文集が作られた。大野小の児童が、タムや集落について素直な思いをつづっている。

にじの子へ

現在の大野の子どもたちは、タムと関わり合っている。最近の大野小の文集は、「にじの子」というタイトルで年度末に発行。タム湖の雲「虹の湖」から名付けられた。昨年度の冊子には、「タムの手紙」の文集も紹介している。

同小では「にじの子」と祭りでは、同小の高校生が「にじの手紙」として演義している。大野郷の年頃も、タム公園にコメスやタムの球根を植たり、水に名札を付けるなど活発に取り組む。ただ、タム完成の50年に300人近い児童

Kameoka

Crocul Tribune

Autumn 2012 Vol.6

Kameoka is located

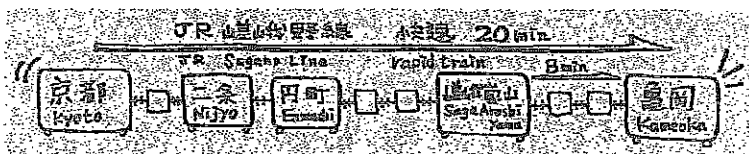
west of Kyoto with a beautiful landscape of mountains, rivers and rice fields. Being rich in nature, it has become a popular commuter town for those working in Kyoto and Osaka; many tourists come to Kameoka as well for a taste of the country side. Moreover, Kameoka is a famous historical city in Japan. Upon visiting Kameoka, some activities that you can enjoy are panoramic views of the Hozugawa River from the Sagano Torokko Ressha Romantic Train run and hands-on experience of the river itself through the Hozugawa-kudari boat ride. Yunohana Hot Springs is fantastic, too, for unwinding after a full day of sight-seeing.



Kameoka-Kyoto publishes this free Japanese-English newspaper as a guide to show visitors many of fun local activities and great places to visit in the area.

Published by
The Kyo-CroCul Group
Continuously providing various practical learning opportunities for its citizens

京くらげ隊

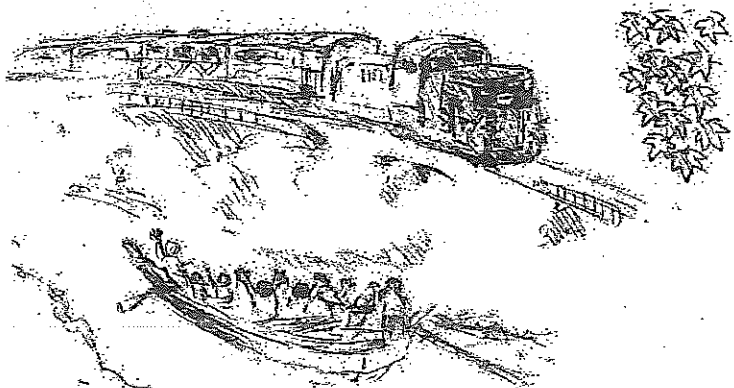


About 20 minutes from JR Kyoto Station

Train: About 25 min by local train/20 min by rapid train from JR Kyoto Station (JR Sagano Line)

About 10 min by local train/8 min by rapid train from JR Saga Arashiyama Station (JR Sagano Line)

Bus: 30 min from Hankyu Katsura (Keihan Kyoto Kotsu Bus)



イラスト・西野千保子

An Autumn Adventure

25 minutes from Saga Arashiyama to Kameoka on the Torokko Ressha Romantic Train

This summer, the Torokko Ressha Romantic Train earned the number one spot on the television show "Novelty Trains You Should Ride at Least Once."

One of the train cars has a glass ceiling and no windows, allowing passengers a panoramic view of the gorgeous scenery, making it especially popular.

Autumn comes early to the Hozu-kyo and as the Torokko Ressha winds through the valley, passengers can enjoy a full view of the local beauty; they can enjoy the colorful trees while waving to the people taking a floating down the Hozu River on the Hozugawakudari River Boat Ride.

- The Torokko Ressha is a short walk from JR Saga Arashiyama Station. It runs from the Torokko Ressha Sagano Station to the Torokko Kameoka Station.

- From Torokko Kameoka Station, it is a 10 minute walk to JR Umahori Station. From there, it is a 3 minute ride to JR Kameoka Station. There is a shuttle bus to the Hozugawa-kudari River Boat Ride boarding point.

秋 嵯峨嵐山から亀岡へ 25 分

トロッコ列車の旅を

嵯峨野トロッコ列車が、TV 番組で「一度は乗りたいアイデア列車は?」という企画で堂々の 1 位を獲得したのは今年の夏。連結車両のうち一両の天井がガラス張り、窓ガラスはなくダイナミックにパノラマビューが楽しめるところに人気が集まりました。トロッコ列車が走る保津峡は、京都市街よりも秋がひと足早く訪れます。トロッコの座席から木々の色づく様子を眺めたり、眼下の川を下る保津川下りの船に手を振ったり、ローカルを旅する気分が楽しめます。

●大人 600 円 子供 300 円 (前売り、当日券とも)

●トロッコ嵯峨駅 (JR 嵯峨嵐山駅から徒歩すぐ) からトロッコ亀岡駅間を運行

●トロッコ亀岡駅からは徒歩約 10 分で JR 馬堀駅。

JR 馬堀駅から JR 亀岡駅へは約 3 分。保津川下り乗船場へはシャトルバスが運行されている。

<http://www.sagano-kanko.co.jp/>

송원호 24 살 세명대학
재학중 대학에선 일본어를
전공하고있고 일본의 여러
문화에 대해서도 공부하고
있습니다. 장래희망은 일본과
한국을 잇는 다리가 되는것
입니다.

카메오카 오도리 대회에 참가하고

본오도리 행사에 참여하게 된것은 우연이었다. 갈릴리아에서 유카타 체험이라는 행사에 초대되어 참가하게 되었는데 유카타를 입은 후에 본오도리 연습이 있어 거기에 참가하게 되었고 이후에 본오도리 대회에 초대되어 참가하게 된 것이다. 일본에 온것이 처음인 나는 이러한 행사에는 되도록 참가하려고 했고 더욱이 그 행사가 일본 여름의 축제라는 것이 흥미를 유발시켰다. 이전에 교토의 기온마츠리에 가본적이 있는데 기온마츠리에는 그저 노상에서 먹을것을 사먹거나 마츠리의 행렬을 보는것이 전부였다. 사람도 많았고 떠들썩했지만 무언가가 부족하다는 느낌이 들었다. 하지만 카메오카에서 행해진 축제-본오도리는 전혀 달랐다. 몇주전부터 모여서 춤을 배우고 연습했다. 모두 소풍을 가기전에 어린아이와 같이 피곤함을 잊고 들뜬마음으로 준비를 하는 듯 하였다. 이윽고 당일! 카메오카에 이렇게 사람들이 많이 살고있었다 싶을정도로 많은 사람을 본것이 처음인것 같았다. 그렇게 많은 사람들이 모여 음악에 맞춰서 본오도리를 추었다. 몇시간이나 음악에 맞춰서 춤을 춘다는 것이 굉장하다고 생각했다. 그리고 무엇보다 내가 직접 마츠리의 참가한 것이 기뻐다. 기온마츠리는 단지 관람자로서 마츠리를 즐겼지만 본오도리는 내가 직접 춤을 추며 체험이 가능했다는 것이 큰 매력으로 다가왔다. 연습도 부족하고 춤 실력도 부족했지만 마츠리의 뜨거운 열기 안에 직접 들어가 있다는 그 느낌이 매우 좋았다! 사진도 엄청 많이 찍어서, 곧 한국으로 돌아가게 되는 나에게 있어서 본오도리 대회는 절대 잊을수 없는 추억으로 남았다. 이날 함께한 사람들과의 추억, 절대 잊지 못할 것 같습니다. 모두 정말로 고맙습니다^^

亀岡大踊り大会は

絶対忘れない思い出

ソン・ヒョンホ: 24 才. 世明大学在
学中. 大学では日本語を専攻し、
日本のいろいろな文化についても勉
強しています. 将来の夢は日本と韓
国をつなぐ橋になりたいです.

私が亀岡大踊り大会に参加したのは偶然であった。くろかる隊の浴衣を着る体験行事に誘われて、それに参加して浴衣を着てみた後、踊りの練習があってそれに興味ができて参加することになった。日本に来るのが初めてである私はこのような行事にはなるべく参加しようとしたし、盆踊りが日本の夏の祭りというのが私の興味を誘発させた。この前京都の祇園祭りを見に行ったが、その時はただ屋台で食べ物を買って食べたり、祭りの行列を見ただけであった。人も多かったし、騒がしかったけど何かが足りない感じがした。しかし、亀岡で行われた祭りー亀岡大踊り大会はぜんぜん違った。何週間も前から参加者が集まって踊りを練習した。みんな遠足を待ちながら楽しんでいる子供みたいに疲れを忘れて期待しながら準備をしていた。いよいよ当日! 亀岡にこんなに人が住んでいたかと思うほど亀岡の道りは大勢の人々で混んでいた。みんな流れている音楽に合わせて一斉に盆踊りを踊った。何時間音に合せて踊るのはとてもすごいと思った。そして何より私自身がこの祭りに参加したのが嬉しかった。祇園祭りの時はただ観覧者として祭りを楽しんだが、亀岡大踊り大会は私も踊りながら祭りの一員として参加したのが私には大きな魅力であった。練習も、実力も足りなかったけど祭りの熱い熱気の中に直接入っているその感覚がとても良かった。写真もいっぱい撮って、もうすぐ韓国に帰る私には亀岡大踊り大会は絶対忘れない思い出に残った。こんな思い出を作ってくれたみんな、ありがとうございます!

明智ミュージアム 20世紀・時空館

Jikukan - time slip into 20th century

The museum opened in the middle of rural landscape, Homme-cho, Kameoka city offers various scenes such as people's live during post war; some look happy and some look cruel with dioramas created by Toru Nanjo, diorama creator, based on a theme "Human being - silly but awesome."

Fee: ¥700 for adults, ¥300 for elementary student, free for infants

Admission: 10:00~16:30 Closed: 12/26~2/28

Contact: 0771-26-8111 <http://www.akechi-museum.com>

(translated by Ohkuma Chieko)

時空館のジオラマ制作者、南條亮(あきら)さんは、日本各地に人形からくりのモニュメントや様々なテーマのジオラマを制作している。時空館には昭和20~30年ごろの風景が30センチほどの人形と精巧につくられた建物や生活道具などで再現されている。2階からは戦争直後の街の風景が見おろせる。そして私たちが記憶に残しておかなければならない「大阪大空襲」を再現した一室にはサイレンが響き、空襲で逃げ惑う人々が表現されており、大きな街の惨劇を告発するかのようだ。これらの作品群のテーマは「人間・この愚かですばらしきもの」。激動の20世紀の日本を庶民の目線で再現する南條さんの仕事は今も続いています。 亀岡市本梅町西加舎 <http://www.akechi-museum.com> (取材・文/西野千保子)

The Kyo-CroCul Group:

The Kyo-CroCul group is an organization promoting a multicultural community; a community where differences between races, nationalities, cultures, generations, etc. are respected, and all residents live together and contribute to society.

京・くろかる隊は、人種や国籍、文化や世代などあらゆる違いを認め合い、共に住みやすいコミュニティを創るために互いに協力し合う多文化共生推進団体です。

発行 Publisher: 京・くろかる隊 The Kyo-CroCul Group

〒621-0823 京都府亀岡市篠町馬堀池ノ下25-46 カルム32 108号

Tel&Fax: 0771-51-2322

E-mail: kyocrocul@gmail.com

企画・編集 Editor: くろかるとりびゅーん編集室 塚本朋子 Tsukamoto Tomoko/

岡本佐知子 Okamoto Sachiko/鈴木由利子 Suzuki Yuriko

イラスト Design: ベリー・マキコ Makiko Berry/西野千保子 Nishino Chihoko/

高木恭子 Takagi Kyoko

翻訳 Translation: Dara Han/Margaret Mann/Julian Poole/米谷尚美 Maitani

Naomi/大隈千恵子 Ohkuma Chieko/伊豆田亜子 Izuta Ako

主な配布先: JR 亀岡駅観光案内所 JR 馬堀駅 保津川下り乗船場 トロッコ亀岡駅

トロッコ嵯峨駅 JR 京都駅観光案内所 京都駅周辺ホテル・旅館

道の駅ガレリアかめおか など

次回発行予定: 2012年12月

<http://www.kyocrocul.com/> <http://www.facebook.com/crocucul>

「くろかるとりびゅーん」は京・くろかる隊有志が無償ボランティアで制作しております。

「とりびゅーん」に掲載する広告を希望される場合は京・くろかる隊事務局までお問い合わせください。



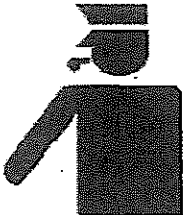
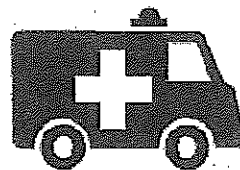
[English](#) > [Information for Residents](#) [暮らし](#) > [Emergency Information](#) 緊急のとき > [Emergency Phone Calls](#)
助けを呼ぶ

更新日: 2013年1月8日

Emergency Phone Calls 助けを呼ぶとき

- [Calling an Ambulance](#) 救急車を 呼ぶとき
- [Calling the Fire Department](#) 消防車を 呼ぶとき
- [Calling the Police](#) 警察を 呼ぶとき

Emergency Telephone Numbers 緊急の 電話番号

きんきゅう でんわばんごう 緊急の電話番号 Emergency Telephone Numbers		
		
110	119	119
けいさつ 警察 Police	しょうぼうしょ 消防署 Fire Department	きゅうきゅうしゃ 救急車 Ambulance

[Return to Top](#) トップへ

Calling an Ambulance 救急車を 呼ぶとき



1. Stay calm. Dial 119. This is the emergency number for the fire department. When answering the phone, the operator will ask: "Is there a fire or do you need an ambulance?" (*kaji desu ka?*)

kyūkyū desu ka?). As calmly as you can, tell the operator the following:

- Someone is sick or injured (*byōki desu. kega desu.*)
- Your name, the address of where you are, and any nearby landmarks.
- Details of the illness or injury.



※Click here for an example phone call transcript from the Kameoka Fire

Department. (PDF:443KB)

2. While waiting for the ambulance, try to give first aid assistance to the injured party.
3. Prepare the person's insurance card (健康保険証 *kenkō hokenshō*) or patient's registration card (診察券 *shinsatsuken*) if you can.
4. When you hear the sirens, go out to meet the ambulance and lead the EMTs to your location.

※Ambulances are free of charge, but can only be used in cases of serious sickness or injury. Any other time you should travel to the hospital in a private car or taxi.

1. 落ち着いてください。

119番に 電話を してください。係員は、電話に出るとき「火事ですか。救急ですか。」と聞きます。

- 「ケガです。」 「病気です。」 どちらか ってください。
- 「住所は _____ です。 名前は _____ です。 _____ の近くです。」とってください。
- できるだけ 詳しく ってください。



※例の 電話は こちらです。(PDF:443KB)

2. 救急車が 来るまで、応急手当を してください。
3. 健康保険証と 診察券を 準備してください。
4. 救急車の 音が 聞こえたら、救急車から 見える場所で 手を 大きく ふってください。

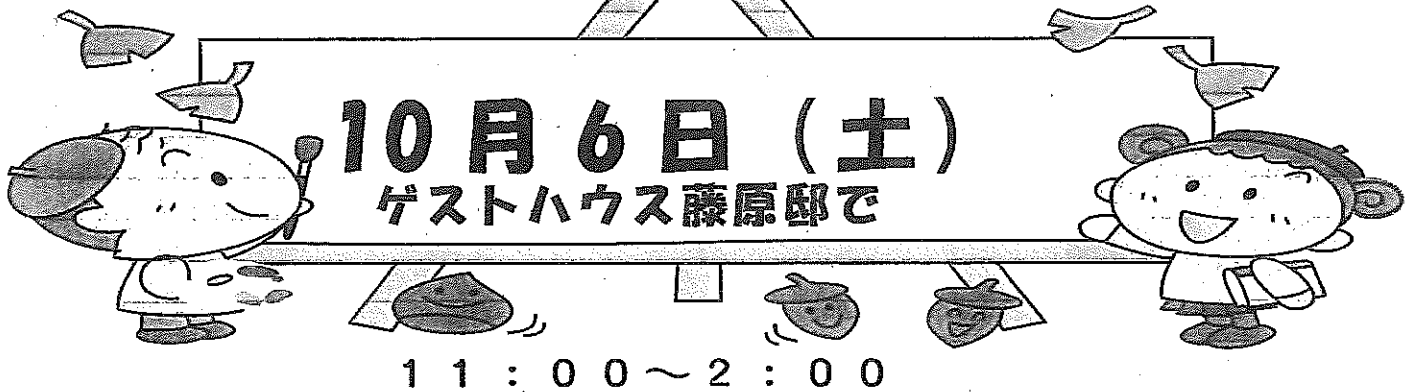
※救急車は お金が かかりません。しかし、緊急のときだけ 利用できます。

[Return to Top トップへ](#)

Calling the Fire Department 消防車を 呼ぶとき (火事を 見るとき)



1. Stay calm. Dial 119. This is also the number for calling an ambulance. When answering the



今日の料理

- * 栗ご飯
- * しじみ汁
- * 揚げ出しとうふ
- * さんまの塩焼き

Rice with Chestnut
Shell soup (shijimi)
Fried Tofu with soup stock
Broiled saury with salt

丹波栗を知っていますか？
大きくておいしいですね。
栗ひろいをしたことがありますか？
栗の皮をむいたことがありますか？
栗ご飯を炊いてみましょう。

Do you know the chestnuts in Tanba area?
It is so big.
Have you had a chance to pick chestnuts?
Have you had to peel chestnuts?
Shall we cook rice with chestnuts!

とうふを油で揚げたことがありますか？
揚げたとうふをだしに入れて食べます。

Have you fried Tofu?
After fried, Tofu is put in in soup stock.

さんまの生を買ってきて、自分で内臓
を取り除いたことは、ありますか？

When you bought a raw saury,
have you cleaned fishes by yourself?

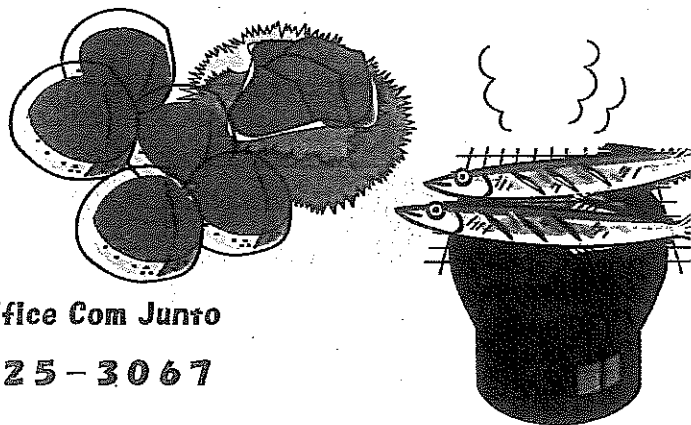
いろいろな貝が店に売っていますが、
生の貝を買って、味噌汁を作ったこと
がありますか？

There are many kinds of shells at market.
Have you ever bought raw shells and made
miso soup with shells?

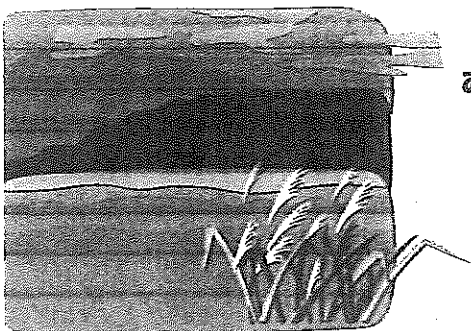
栗ご飯用の栗は、下ごしらえが必要ですが、栗畑 (藤原家の) で栗拾いもできますよ。

The chestnuts for the chest nut rice needs to prepare to do something before. However,
you can try to pick the chestnuts at Fujiwara's chest nuts garden.

ゲストハウス藤原邸：亀岡市旭町宮ノ元
0771-25-3067
当日のみ 0771-20-7972



お問い合わせ・お申し込み
ゲストハウス藤原邸 & Office Com Junro
児嶋きよみ 0771-25-3067



吹奏楽の響き 地蔵盆に活気

梶原中生が盛り上げ

京都市西京区の梶原五桑自治会の地蔵盆が18日行われ、地元住民がお参りや数珠回しで無病息災を祈った。今年も梶原中吹奏楽部の演奏もあり、多くの家族連れでにぎわった。

早朝から自治会役員らが公園にテントを張り会場準備を整えた。住職を招いて地蔵の法要を営んだ後、子どもが福引大会で盛り上がった。午後はいよいよ雨となったが、梶原中吹

奏楽部員78人が近くの中学校体育館で演奏を披露。森昌子の「越冬つばめ」や軽快なアニメソングを歌やダンスと一緒に奏でると、盛んな拍手が送られた。この日は京都市内各地で地蔵盆があり、路地や公園では、享楽をもらったり水遊びを楽しむ子どもにぎやかな声が響いた。(後藤創平)



地蔵盆に合わせて披露された梶原中吹奏楽部の演奏を聞く住民ら(京都市西京区・梶原中)

講演会、自治会職員ら地域課題の取り組みを「京都もやい」などが主市町村の職員が参加した。北川氏は、

外国人 日本の夏つるり

亀岡で催し 流しそうめんに舌鼓



外国人たちが料理つくりを通して日本の文化や歴史を学ぶイベントが18日、亀岡市旭町の「ゲストハウス藤原

邸」であった。参加者は夏の風物詩である流しそうめんを楽しむ、国際交流を深めた。藤原邸では英会話や

料理講座を開いており、草の根交流の一環として、在日外国人が季節の日本料理に挑戦するイベントを企画。府や同市の国際交流員、外国語指導助手(AI)、地元住民ら約20人が集まった。

藤原邸近くの竹林から竹を切り出し、長さ約10メートルの流しそうめん台を組んだ。参加者は小雨が降る中、そろそろと箸を手にスライヤ。そろめんのほか、ミニトマトやごもじーアも流され、大喜びで箸をほして「おいしい」と味わっていた。(堀内優平)

流しそうめんを楽しむ参加者たち(亀岡市旭町・ゲストハウス藤原邸)

京の風景漫画 来、

清水の舞台下にも一瞥

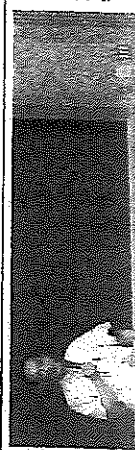
八幡で作品展

京都市の風景をテーマにした「京都風景漫画展」が18日、八幡市文化センターで始まった。ユーモアあふれる作品が訪れた人々を楽しませている。京都マンガ家協会が

地域の自立公務

府内の自治体職員が地域の自立や国との関係について考える講演会が18日、京都市下京区のキャンパスアウザン京都であった。元三重県知事で早稲田大教授の北川正恭氏が「今の社会を作り直すには

地域に責任が立ち上り、構造を変えない」とたしき。



講演会、自治会職員ら地域課題の取り組みを「京都もやい」などが主市町村の職員が参加した。北川氏は、

見よ

つ矢を射り、見事に的に当たると観客から拍手が沸いた。初参加の会社員吉田摩季さん(24)「京都市西京区」は「大好きな読漫画の主人公の気分を味わえた」と話していた。(中尾隆希)



川に浮かべられたべこや板の上を水しぶきを上げて走り抜ける女性読者ら(福知山市内記・福知山城)

平成24年12月30日

京都新聞

あらゆる京都新聞広告は(京都新聞広告)
京都新聞広告
辻村丹後総代理店
〒60772-222-2734
FAX 0772-22-0460
お申し込みは

丹波総局
〒621-0805
亀岡市安町金ヶ前
代 表 0771(22)3515
FAX 0771(22)3517
tanba@mb.kyo
to-np.co.jp
南丹支局
〒622-0002
南丹市園部町美園町
代 表 0771(62)0434
FAX 0771(62)2821
nantan@mb.k
yoto-np.co.jp
北桑通信部
0771(75)9035
(FAX専用)

1303世 撃刺を初めて公衆。1町でも、庁舎の冷房
。人の避難方 屋内避難が必要になる を控えるなど、201
栗山正隆市 9市町の中に、南丹市 0年度比15%以上の節
日、市地域 や京丹波町のほか、同 電を目指した。
防災計画) 原発から50km以上離れ 南丹市は9月20日、
ちえを示し 災計画の見直しが必要 学校給食と保育所給食
月23日、高 と判断した。 を対象に、内部被ばく
島第1原発 原発事故から避難生 ンについて検査し、
故が起こっ 活を続ける福島原発 、「検出せず」との検査
射性物質拡 町の住民に送ると、 結果を発表した。
射性物質拡 町の住民に送ると、 結果を発表した。

備前への支援続く



京丹波町スポーツ少年 団は4月14日、シヤガ
イモの植え付けを須知
高(同町豊田)で行っ
た。子どもが参加でき
る支援として企画し、
昨年に続く取り組み。
8団から75人が集まっ
た。南丹市は、福島県
浪江町の本年度支援と
して、5月13日から第
1班の職員2人を避難
先の二本松市へ派遣し
た。
7月2日、夏の節電
期間がスタート。2市
1回検査している。



留学生ら餅つき体験 簡

亀岡市旭町のデス
トハウス藤原邸で29
日、餅つき大会が開か
れた。子どもや留学生
らが力強くきねを振り
下ろし、一足早い正月
気分を味わった。
古民家を改装した宿
泊施設の藤原邸が国際
交流を目的に、毎年開
いている。京都市内の
留学生や近所の住民ら
約50人が参加した。
留学生らは、きねの
重さでふらふらなが
らも振り下ろして熱々
の餅をつき、できたて

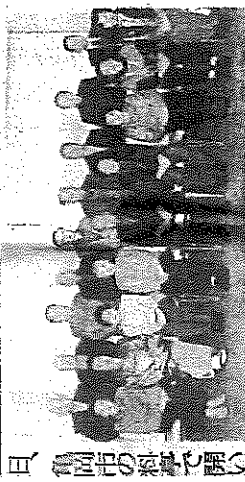
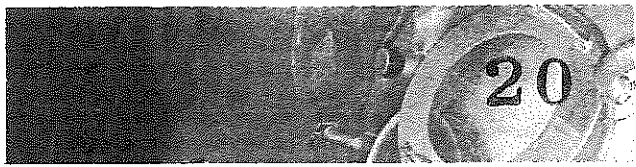
29日	安値	788	420	105	105	84	147	210	111	210	210	1155	105	315	156
JA全農(京都府内)	1355	1355	4095	1470	294	336	1305	1199	1680	326	525	2310	1155	1155	166
JA全農(京都府外)	1019	1050	1575	940	137	200	630	880	420	215	305	2310	1155	1155	166
JA全農(京都府内)	1355	1355	4095	1470	294	336	1305	1199	1680	326	525	2310	1155	1155	166
JA全農(京都府外)	1019	1050	1575	940	137	200	630	880	420	215	305	2310	1155	1155	166
JA全農(京都府内)	1355	1355	4095	1470	294	336	1305	1199	1680	326	525	2310	1155	1155	166
JA全農(京都府外)	1019	1050	1575	940	137	200	630	880	420	215	305	2310	1155	1155	166

アリスさん(24)は「ト
ントンド、リズなまよ
つのが楽しかった」
と初めての体験に喜ん
でいた。
(久保田昌洋)

3年ぶり語業しく
【亀岡・昭和23年3
月卒(3年3組)】1月

20位に賞し、
ことが結果。通

搾りたその新酒の味を確かめる寺井昌夫社長
(京丹波町本庄・長宅)



手作りワークショップ

ご案内

電レクでは、春と秋に2回のワークショップを実施し、参加者の皆さんとレクについて学び合っています。

今年度2回目のワークショップは、「思いやりの心を伝えよう」をテーマに、午前中「はじめましてのゲーム・ソング」、午後は、兵庫県レクリエーション協会副会長田淵中先生をお迎えして「ふれあい、心温まる時間を作るためのレク」について学びます。たくさんの方の参加をお待ちしています。今回の会場は今までと異なりますのでご注意ください。

と き 平成24年 11月17日(土) 9:00~16:00

ところ 京都学園大学 光風館会議室 (JR亀岡駅よりバスが出ています。)

プログラム

9:00~開場 受付

9:15~開会 『はじめましてのゲーム・ソング』

~今日、この会場で出会った人たちがもっとなかよくなるために~

12:00~昼食・交流タイム

13:00~「**よろしく！田淵さんタイム**」『いい汗 いい疲れ いい顔に』

講師紹介 田淵中さん(兵庫県レクリエーション協会副会長)

レクインストラクター養成講習会や社協デイサービス職員、ボランティアの方々の研修講師として活躍中。教職員・小学生対象の自然学校や老人クラブなどの研修・指導もされています。

「自分が楽しくなければ相手も楽しいはずがないの気持ちで活動しています。」

※兵庫県香美町在住 スキーのメッカハチ北よりお越しいただけます。

15:30~ティータイム・感想交流、感想発表

おたずねタイム・アンケート記入 会場片付け

16:00 解散

申込締切 11月9日(金)

準備の都合上、締切日厳守でお願いします。申込受付後、こちらから改めて連絡させていただきますのでご了承下さい。

参加費 500円(資料代・会場費)

持ち物 マイカップ(湯茶用、熱いものを入れても大丈夫な物)

昼食 (希望される方には、こちらで500円程度の物を準備させていただきます。申込時にお知らせ下さい。)

主 催 亀岡市レクリエーション研究会(主管) かめおか遊友ネットワーク

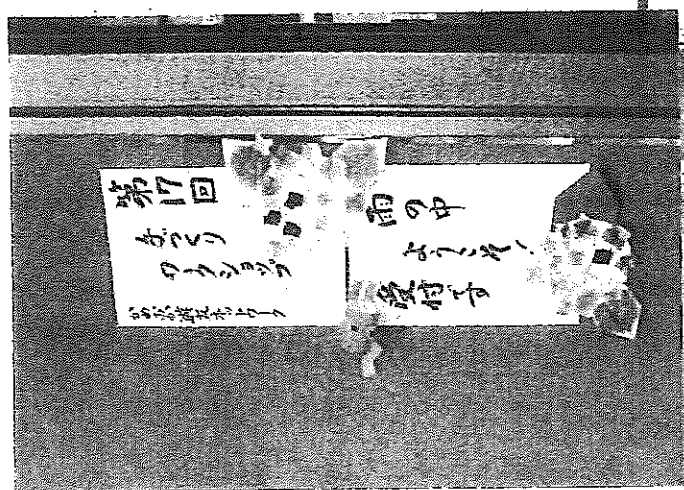
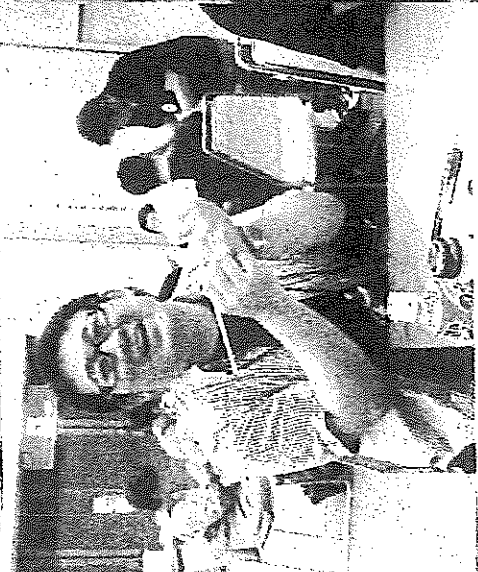
後 援 亀岡市教育委員会 京都府レクリエーション協会 亀岡市 京都学園大学

申込方法 参加者氏名・〒・住所・電話番号・活動される時の主な対象者(所属・勤務先・学校など)・
昼食購入希望の有無を書いて

FAXの方は 0771-20-1229 江見まで

郵送の方は 〒629-0141 南丹市八木町八木西町裏16-12 杉本 雅子まで

※今回のお申し込みの際いただきました個人情報ワークショップの運営にのみ使用させていただきます。



波 丹

あらゆる京都新聞広告は(京都)
京都新聞広告報
辻村丹後総代理
〒607-7212 京都府京都市左京区南丹波
TEL 077-21221
FAX 077-21222
お申し込み



ゲームをきっかけにコミュニケーションをとる参加者たち(亀岡市曹我部町・京都学園大)

欠かさない地域のボランテアリーダー、教員や学生らが情報交換を進めるため、約10年前から毎年春と秋に開催している。

亀岡のほか、京都市や宇治市などから約30人が集まった。福祉関係の就職を目指す同大学の学生たちも参加した。

自分の氏名と同じ文字を持つ相手を探し出すゲームでは、互いの名札をのぞき込み、コ

健康長寿は歯磨きから

南丹波フォーラム講演や実践報告

「健康長寿日本一」フォーラム「京都丹波」が17日、南丹波市園部町の市国際交流会館で開かれた。歯の健康をテーマに、講演会や実践報告が行われた。

行政や医師会、歯医

と健康長寿推進南丹波府民会議が主催。府立医科大学の金村成智教授が講演で、「歯周病は静かな癌で、自覚症状が出にくい。だが放置すれば血管の病

た。歯科医

心通わすこつ学が

ゲームや歌活用

ボランテア活動やレクリエーション活動の楽しみ方を学ぶ「手作りワークショップ」が17日、亀岡市曹我部町の京都学園大で開かれた。参加者は、簡単なゲームや歌で相手との距離を縮めることを学んだ。

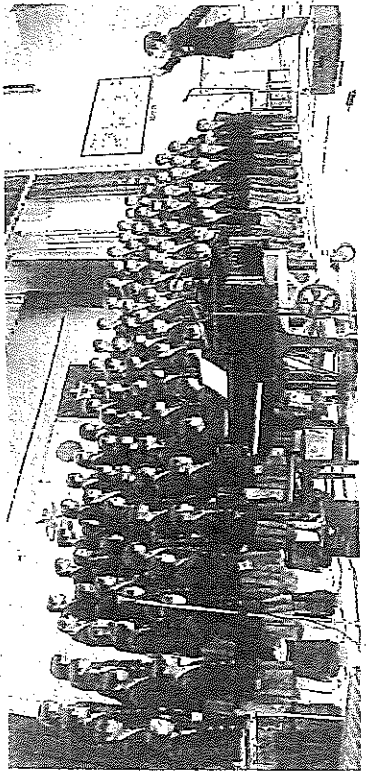
亀岡市レクリエーション研究会と、市民団体でつくる「かめおか運動ネット」の協力で、人との関わりが

コミュニケーションを図っていた。続いて全員で童謡などを合唱。歌声を合わせるだけでなく、輪唱したり、簡単な振り付けをそろそろなどして場の盛り上げ方を学んだ。

兵庫県レクリエーション協会の田淵中副会長(64)による研修もあり、参加者は互いの心を通わせるノウハウを吸収していた。

(小池直弘)

改修された体育館で美しい歌声を響かせる生徒たち(南丹波市八木町・八木中)



新装体育館に喜びの歌声

南丹波市中で17日、行っていた工事で、健やかなに生徒の歌声を響かす体育館が、築約20年の歴史を乗り越え、新装した。約1億円の完成後の初秋例祭

〈大野の学校に六年生までおれるはず、ほんまにいいなと、思っています〉

大野タム(南丹波市美山町)が建設されていた1957年。大野小3年だった石田喜子さんは作文で、古里から引っ越さなければならぬというのを打ち明

故郷を離れ

事務所に勤め、同僚と結婚。10年前、がんのため50歳で亡くなった。今、修学院の家には、兄の良明さん(66)が住む。「妹は我慢強い子で、病気の発見が遅れてしまった。でも最後は好きな旅行をして、幸せに逝ってしまった」と思います。のんだ。

暮らして戸惑った。1学年1クラスの大野小から、7クラスの修学院へ。「修学院旅行に行きたくない」とだをこねたが、少しずつ慣れていった。

美山はもう、記憶の中だけの古里。墓も京都市に移し、親類の法事以外に訪れることはほとんどない。

る。タムをきっかけに、発展するやろな、と思っていたが」と表情を曇らせた。

大野タムさんによると、タムが次々建物は佳家48棟、非佳家8棟の計130棟。34戸が移転を迫られた。田畑を持つ農家は町内に、非農家は町外に引っ越す

20(3.1.6

走って歩いて 保津川を保全

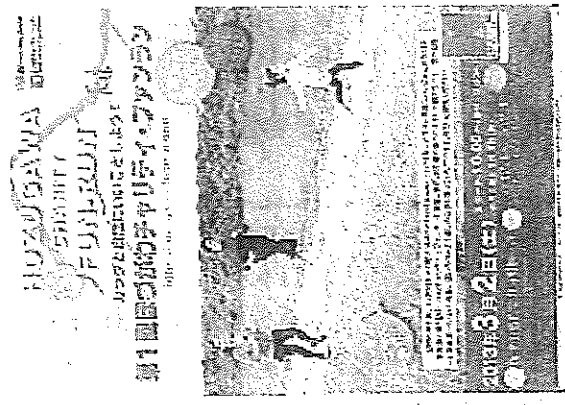
参加費がボランティア活動の資金になる「第1回保つがわまやリタイ・フットラン」が3月2日、鶴岡市の保津川右岸で開催される。参加のハイを募集している。

保津川自然会やならぬ法人「エコシエム・保津川」が主催する実行委員会が、天然記念物入エモトキが生息する川をけり次世代に残そうと、「おとなも自然にいいよ」を合言葉に企画した。参加費は「保津川・保津川基金」に寄付し、環境保全活動に役立てる。

コースは10km、5km、2.5km、フリー、ウォーキングの五つ。コースに応じて午前10時から正午にスタートし、保津川河川敷などを走る。

記念品がもらえる事前エントリーは定員300人で、1月1日まで。申し込みは大会当日もできる。参加費は大人2500円(前日3千円)、小中学生1500円(前日3000円)、幼児2000円(前日3000円)。保つがわまやリタイ・フットランも募っている。問い合わせは実行委員会電話0171(20)2000。

保つがわまやリタイ・フットランの
ポスター



鶴岡で3月初開催 参加費を活動資金に

保津川右岸で初チャリディ・ラン

強風の中、スタートするランナー
(亀岡市保津町)



350人、強風に負けず

参加費が保津川(桂川)の環境保全活動の資金になる「ほづがわチャリディ・ラン」が2日、亀岡市の保津川右岸で初めて開かれた。市内外から約350人が集まり、強

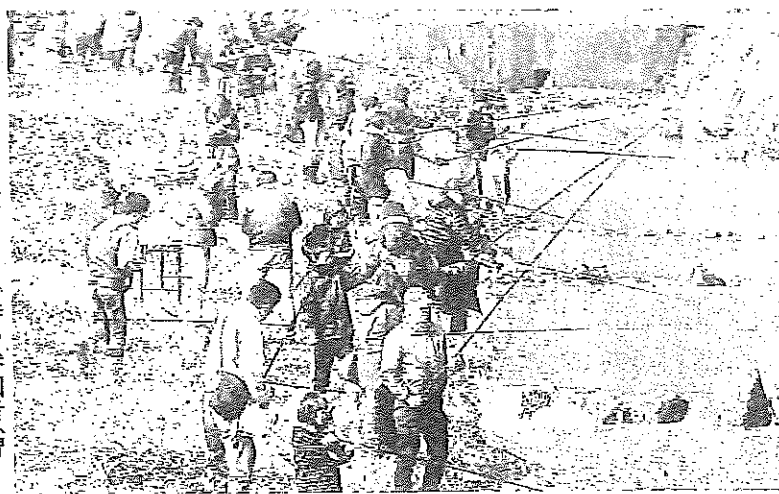
風の中、河川敷を笑顔で走り抜けた。国の天然記念物・アモトキなどが生息する保津川水系の豊かな自然を広く知ってもらおうとNPO法人「プロジェクト保

津川」などをつくる実行委員会が主催した。参加費は「母なる川・保津川基金」に寄付される。初見から代までのランナーは、10キロや5キロなど距離別に分かれ、それぞれスタート。人気キャラクター「くまもん」のぬいぐるみを着用したランナーも

おり、コース沿いの観客から大きな声援を受けていた。10キロを走り終えた青井昌子さん(26)は京都府京都市北区は「ランニング大会は初めてだったが、強風でも楽しく走れて気持ちよかった」と晴れやかな表情で話した。
(久保田豊洋)

長
ならないが、書
を育み、たくま

協同組合主催)が2
目。釣った数で順位を
決めた。
防養委員の参加者は
山王寺前の大飼川約2
00区間で、イクラ
を餌にして一斉にスタ
ート。雪が断続的に降
るなか寒さも厳しく、
体を縮こまらせながら
糸を垂らした。



釣糸を垂らし、当たりを待つ参加者(曾
我部町で)

20秒のアマゴを釣り
上げた千代川小学校3
年の山口友雅君は「3
回当たりがあつたけ
ど、釣れなかったの
で、初めて釣れてうれ
しい。プルプルという感
触が気持ち良かった」
と喜んでた。

アマゴ釣りは3日に
解禁。10日には大飼川
で75ギを追加放流する
予定。
成績は次の通り。敬
称略。
【少年少女の部】①
山口千哉15匹②長谷川
拓海13匹③佐藤令大11
匹④山口友雅10匹⑤田
中知也9匹
【女性の部】①樋口
延子16匹②長澤順子16
匹③木村博子6匹
大物賞(鳥岡市長賞)
①長澤圭吾24・5ギ
大物賞①山上岬24・5
ギ
※女性の部は最長寸
の差
※大物賞は目視で市
長賞を決定。プービー
賞を大物賞に振り替え

初大会に350人エントリー
強風と寒さに負けず力走
ほづがわチャリティ・ファンラン



寒いなか一斉にスタートする参加者たち
(保津町で)

第1回ほづがわチャ
リティ・ファンランが
2日、保津町の保津川
右岸河川敷で開かれ
た。強風と寒さが激し
かったが、ランナーた
ちは負けじとゴールを
めざした。
NPO法人鳥岡子育

川敷をぐるりと走る1
周2・5ギで、種目は
10ギ、5ギ、2・5ギ
と自由に周回するフリ
ーとウォーキング。市
内のほか遠くは石川、
富山両県から、幼児か
ら70代まで全種目で約
350人がエントリー
した。
ランナーたちは舗装
されていないコースを
走り、タイムを意識す
る人や友人同士でのん
びりと楽しむ人、幼い
子どもをおんぶして走
る親など、参加者は思
い思いのペースで挑戦
した。
会社の同僚で参加し
た池田哲也さん(31)は
篠町と長谷川誠一さ
ん(49)と大井町は
「非常に寒かった。舗装
されていない道なので
新鮮でした。10数年前
に10ギを走ったのでい
けると思いましたが、
きつかった」とさわや
かな汗を流していた。

同級・同窓・OB会だより
卒業60周年を記念して
南桑中別院分校の昭和27年度卒生

別院中学校卒業生
60周年記念大会
平成28年2月24日

元気に顔をそろえた南桑中別院分校の昭和27年度卒生ら
(本梅町で)

- 南桑中学校別
を昭和27年度に
たクラスメート
のほと、本梅町
・烟河)で卒業60
記念した同級
き、旧交を温め
同分校は、同
ちが卒業した次
ら別院中学校に
たため、最後の
業生となる。平
- おめでとう
- 藤井雪那ちゃん (佑樹さん)
 - 西つつ井上愛彩ちゃん (史朗さん)
 - 吉勝陸ちゃん (啓之さん)
 - 藤木あみずちゃん (靖将さん)
 - 野田誠志朗ちゃん (聡さん)
 - 中井詩月ちゃん (嘉彦さん)

んに特別栄誉賞
府スポ
1ツ賞

保匡平(京優会)西尾
佳子(知的障害者授産
施設ワークスおーい)
荒賀慎太郎(京都産業
権大会府チーム(府空

府チーム(同)
【未来くん賞】個人
玉井駿(鳥岡中)仲尾
俊祐(同)中西亮雅(東
山雅代(同)朝倉恵
緒(同)若山祐也(同)山
口颯太(同)高屋うらら
(大城中)八木浩輝(同)
山下雅代(同)朝倉恵
杉優里(同)小田原美麗
(京都精華女子高)中川
結衣(同)三村蘭子(京
都学園高)人見麻友(東
剣道スポーツ少年団
詳細ミニバスケツボ
ール教室、鳥岡ソフト
テニススポーツ少年

HOZUGAWA

@hozugawa_funrun

ほづがわチャリティ・ファンラン
find us on Facebook

1st CHARITY FUN-RUN

カラダと自然にいいことしよう!



第1回ほづがわチャリティ・ファンラン

<http://hozugawa-funrun.org/>

参加者
募集中!

当日
ボランティアスタッフ
同時募集!

ウォーキング
コース
あり!

自然の中を楽しく、気持ちよく走り、ふるさとの川をみんなの力で守る。「カラダと自然にいいことしよう!」を合言葉に第1回ほづがわチャリティ・ファンランを開催します。水の音や鳥のさえずりを聞きながら、悠々と流れる保津川のほとりを思い思いのペースで楽しみながら走っていただけます。ぜひ、ご参加ください!

2013年3月2日(土)

スタート 10:00~(受付: 9:00~)

《雨天の場合3月3日(日)》

会場 保津小橋右岸の河川敷一帯

事前
エントリー
期間

2012.12/10~2013.2/1

▶2/3 京都丹波地域交流フェスティバル(会場: ガレリアかめあか)でも受け付けます

記念品
割引あり!

保津川
川守会
収益は、母なる川・保津川
基金に寄附されます。

当日エントリーも可

主催: ほづがわチャリティ・ファンラン実行委員会 (NPO 法人危機子育てネットワーク、NPO 法人プロジェクト保津川)

後援: 京都府南丹波地域振興局、京丹波市

協力: アオキネットワークス、一般一遊、A.C. infinity、NPO 法人ふるさと保津、京丹波組、京・くろがる隊、(公社) 日本国民間協力会 (NICCO)、養明自治会、ビッグスマイル、保良会やじの会、保津川産物企業組合、保津町自治会、みずのさき行動、有限会社山内スポーツ、ほづがわ

第1回ほづがわチャリティ・ファンランは、亀岡市と東山町まちづくり協働支援金を受けて運営しています。